

古都奈良の秋を彩る伝統行事

古式

鹿の角きり



2019年

※小雨決行・荒天中止

10月12日(土) 13日(日) 14日(月・祝)

開催時間 11:45~15:00

開場11:15・最終入場14:30

観覧料

おとな1,000円 こども500円

中学生以上 小学生

チケット販売10:00~14:30

※当日券のみ販売

愛護会会員・同伴者1名様まで無料

障がい者手帳をお持ちの方・付添1名様まで半額

完全入れ替え制・立見席・場内バリアフリーではありません

ペット同伴のご入場お断り・三脚禁止

(介助犬・盲導犬・聴導犬を除く)

鹿苑 角きり場

ろくえん つの (春日大社境内)

〒630-8212 奈良市春日野町160番地1



アクセス

JR・近鉄奈良駅より
奈良交通バス市内循環外回り
春日大社表参道下車
東へ徒歩約7分

JR・近鉄奈良駅より
奈良交通ぐるっとバス
奈良春日野国際フォーラム
麓前下車・南へ徒歩約3分

主催・お問合せ

一般財団法人 奈良の鹿愛護会

TEL:0742-22-2388 <https://naradeer.com>



周辺MAP
QRコード



WEBサイト
QRコード

後援：奈良県・奈良市教育委員会
(一財)奈良県ビジターズビューロー・(公社)奈良市観光協会
行事の収益は「奈良のシカ」の保護に充てられます

角きりの歴史

「鹿の角きり」は、発情期をむかえた雄鹿の角により、町民が危害を受けたり、鹿がお互いに突き合って死傷することを防ぐため、江戸時代初期の1672年(寛文12年)当時鹿の管理者であった興福寺が奈良町奉行の要請を受けて始めたと伝えられています。当時の角きりは、町の所々で行われ、店先や人家の格子の中、屋根の上などから見物していたようです。明治時代の中頃には、春日大社の参道の所々で角きりが行われていました。1929年(昭和4年)より現在の角きり場を設け現在の姿となりました。明治・昭和の戦乱期の一時中断を除き、現在まで継承されている古都奈良ならではの勇壮な伝統行事となっています。



南都神鹿角伐之図(東栄堂蔵)

角きり行事とは

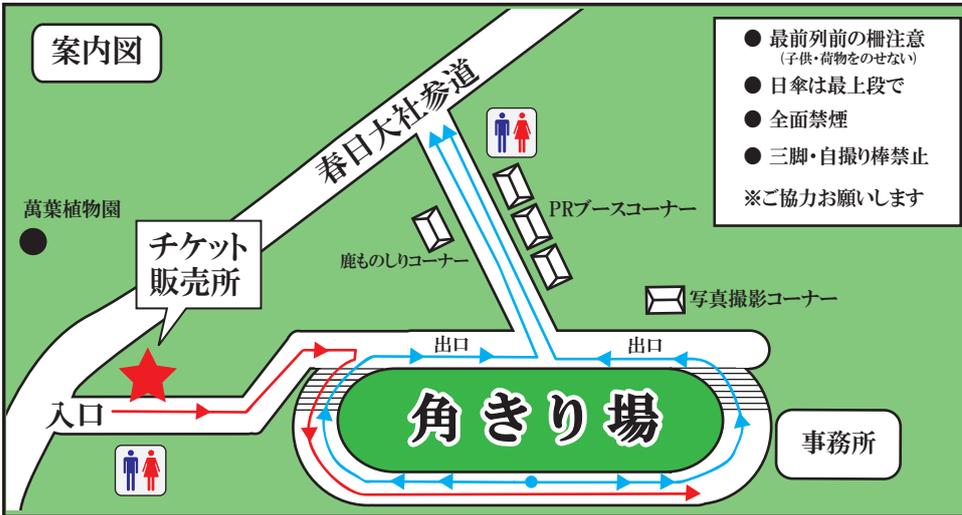
勢子たちが「赤旗」を持ち、角きり場内に立派な角を持つ雄鹿を追い込みます。「十字」を持った勢子が鹿の角に縄をかけます。鹿はゴザの上に寝かされ、神官役が興奮した鹿の口に水差しで水を含ませ気を静めた後、ノコギリで角を切り落とします。鹿は神様のお使いの「神鹿」とされてきたことから、神官役が角を切り、神前に供えます。



角鹿を追い込む勢子



縄をたぐりよせる勢子



角きり行事の流れ	
安全祈願祭 ※安全祈願祭は各日1回目のみ	
①	3頭の雄鹿を角きり場に追い込みます。
②	捕獲具の「十字」を使い雄鹿の角に縄をかけます。
③	鹿の体を傷つけないよう慎重に縄をたぐり寄せて捕まえます。
④	角きり1頭目(場内右側) ②、③を繰り返す、行事を行います。
⑤	角きり2頭目(場内左側)
⑥	角きり3頭目(場内中央)

行事は1日4回実施。1回約30分

鹿からのお願い

奈良公園の鹿は、国の天然記念物に指定されている**野生動物**です。
みんなでたいせつに鹿を守りましょう。

小さい子は、おとなと
いっしょにあたえよう!



まわりの鹿にも注意しよう!



バッグなどに気をつけて!



鹿せんべいがなくなったら
両手を広げおしえて!



奈良の鹿のごみ問題

写真は、奈良公園の雌鹿の胃(第一胃)からみつかったレジ袋などのプラスチックごみです。この鹿は、胃の中を占拠したごみによって、栄養が十分取れず、死亡しました。

私たちにできること

レジ袋やお菓子の包みを捨てない。

鹿にレジ袋やお菓子の包みを食べられないように気を付けましょう。